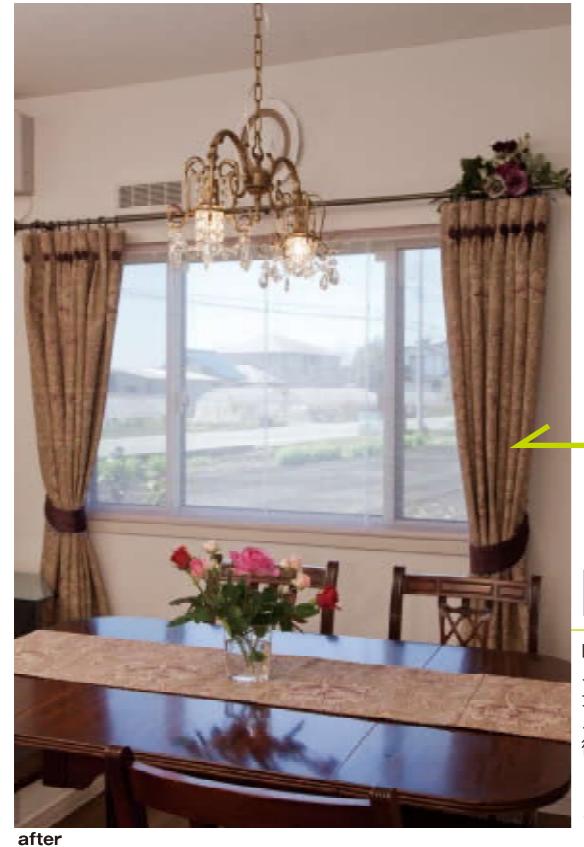


ご提案



after



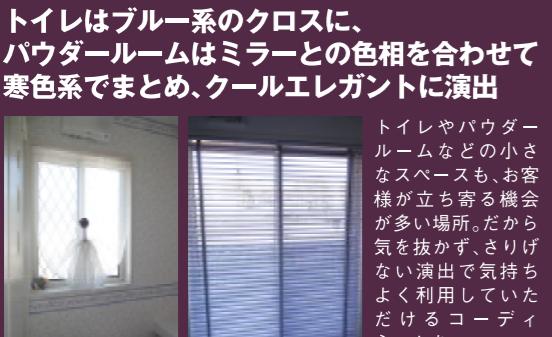
DINING ROOM

F様邸のキッチンはピンク系。それに合わせダイニングルームのカーテンは、モノトーン調で同じ色相の入った大振りの菊の花柄に。素材は麻・綿で裏地付のヴィリアム・モ里斯デザインのしなやかな生地です。デザインの特徴はカーテン上部のつまみ部分(ゴブレットブリーツ)にくるみボタンを付け上品に。また、くるみボタンと同色にしたタッセル部分には、室内のシャンデリアに合わせガラストリムを付け、エレガントさを演出。



JAPANESE ROOM

和室は奥様のプライベートスペース。F様セレクトのブリーツスクリーンが設置されていましたので、このブリーツスクリーンにフラットバランスと、フラワーアレンジを加えて華やかさをプラスしました。実はこのフラットバランスの生地はダイニングルームのカーテンの残り生地。この生地はアレンジ次第で洋にも和にも合います。コストを抑えながら高級感を演出し、なおかつ、同じフロアであるLDKとの調和もとれました。



TOILET & POWDER ROOM

トイレはブルー系のクロスに、
パウダールームはミラーとの色相を合わせて
寒色系でまとめ、クールエレガントに演出



LIVING ROOM

F様が一番こだわる空間がリビングの吹き抜けスペース。訪れたお客様がハッとするようなダイナミックさとエレガントさを演出するために、薄地の透け感のある生地をダブル使いでご提案。一枚はポイルレースといって薄地で透けて見える平織り、紗織りの布地。もう一枚はケースメントといい、ドレープカーテンとレースカーテンの中間の性格を持つ、すかし織りをしているタイプ。柔らかな透け感が光を適度に調節し、木漏れ日のような柔らかい演出効果をもたらします。カーテン自体の装飾効果も高く、まさに息を飲むような美しい空間に。



F様のご要望

public **1F** space

リビング・ダイニング・キッチンの
つながる空間を意識した
コーディネートに。
吹抜けはハッとするような
ダイナミックな演出を。